

熱田小児科クリニック掲示板

5月のテーマ

『ひきつけ（熱性けいれん） てんかんについて』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

けいれんとは、急に体の一部または全身をピクピクさせたり、意識がなくなって、目が固定してグーっと突っ張ったりすることを言います。白目になったり、呼びかけても反応がなかったりもします。

観察のポイント

- ・けいれんをおこした時は、落ち着いて観察しましょう。
- ・けいれんに気付いた時間・分数・目つき・手足の動き・発熱の有無を確認しましょう。

しばらく様子を見ても良い場合

- ・けいれんが1回だけで数分以内。
- ・目を開けて周囲の呼びかけに反応したり泣いたりする。
(夜間の場合、けいれんが数分以内で終われば、静かに休ませ、翌日に診察を受けましょう。)

すぐお医者さんへ

- ・けいれんが10分以上止まらない
- ・いったん止まっても繰り返す
- ・意識が15分以上回復しない
- ・激しい嘔吐をとまなう
- ・けいれん後、手足にまひが残る

家庭でできること

- ・静かに寝かせ、呼吸が楽なように衣服をゆるめましょう。
- ・けいれんの際に吐いてしまうと、口やのどがふさがり危険です。けいれんの間は、顔・体を横に向けてください。
- ・けいれんが止まったら、必ず体温を測っておきましょう。
- ・すぐに飲み薬・飲み物・食べ物を与えないでください。

注意点

- ・けいれんをおこしたことを、かかりつけ医にお知らせください。
- ・けいれんをおこしてから3か月は予防接種をひかえましょう。

てんかんとは、てんかん発作を何回も繰り返す脳の病気です。脳には、非常に多くの神経細胞があります。これらは通常バランスよく活動していますが、神経細胞の一部に異常な興奮が発生して、周りの神経細胞に拡大したり、脳全体に広がる場合があります。その結果、てんかん発作が起こりえます。

てんかんの治療

治療の基本は、「抗てんかん薬」の服用です。約7割の患者さんは発作をコントロールできます。小児の場合は、大人になると発作が出なくなることもありますが、大人の場合は原則として生涯にわたって服用します。

～津病児デイケアルーム「ひまわり」からのお知らせ～

津市に移住する生後57日から小学校6年生で病期中、病気回復期のお子さんをお預かりするサービスを「ひまわり」では行っています。事前登録が必要となりますが、お困りの方があれば一度お気軽にお問い合わせ下さい。(TEL 059-229-8808)